

県立匠瑳高等学校

目 標

- ・ 異文化体験を通じて、他国の文化、生活を正しく理解する機会を提供し、国際交流体験を推進することで、高校生の国際性育成に努める。
- ・ 長年にわたりグローバルな職場で活躍してきた講師の話をお聴くことで、他国への興味関心を高め、理解を深めるとともに、主体的に国際社会に参画しようとする態度を育てる。

留学生等との交流会の開催

- (1) 日 時：第1回 平成30年8月1日（水）15時から17時
第2回 平成31年2月8日（金）15時から17時
- (2) 会 場：城西国際大学（東金市）
- (3) 留学生等：城西国際大学大学院生（留学生）等14名
- (4) 参加者：第2学年国際理解コース生徒13名、教員2名 計 15名
- (5) 内 容：
本校国際理解コースの生徒と城西国際大学の大学院生（留学生）との異国文化等の理解を目的とするプログラム。留学生からは、生活や習慣、食文化等をテーマにプレゼンをしてもらい、高校生からは、日本の伝統などについて紹介を行い、交流を深めた。
- (6) 事前学習：
授業「中国語基礎Ⅰ」「韓国語基礎Ⅰ」の担当講師（ネイティブ）より、当該国の文化等について触れた授業を受講。「コミュニケーション英語」の学習を通じて積極的にコミュニケーションが図れるようにする。
- (7) 事後指導：
語学授業の中で交流から感じたこと、学んだことを発表・報告する。
- (8) 参加者の感想等：
授業で学んだものを実体験できてよかった。日本が大好きな留学生は、とても親しみやすく、楽しく交流できた。留学生の発言から、逆に日本のよさを再認識した。国際交流ができた。

海外理解促進のための講演会

- (1) 日 時：平成30年11月15日（木）13時35分から15時
- (2) 会 場：本校体育館
- (3) 講 師：氏名 越川 和彦 氏
所属 JICA 副理事長
経歴 本校27回卒業生 元スペイン国特命全権大使

(4) 参加者：全校生徒854名、教員60名、保護者他24名、 計 938名

(5) 内容：

講演の序盤では、高校入学後に漠然とした海外への憧れから外交官を目指すようになった経緯を、また中盤からは大学生活や夢を叶えて外交官として海外で勤務する中での仕事の難しさとやりがいについて話していただき、緊迫する今の国際情勢についても具体例をあげてご講演頂いた。

(6) 事前学習：

総合的な学習の時間を通して、今、国際理解として何が大切かということ、また各自が将来どのような形態で社会に貢献していくか、そのためには今、何ができるかについて考え、記述する。

(7) 事後指導：講演終了後、設問に答える形で感想を記述する。

(8) 参加者の感想等：

外交官としての仕事の苦労や、やりがいが聴けて大変興味深かった。もう少し時間が欲しかった。
(控え室に戻った講師との歓談の場を設定した。)

現在の国際情勢について具体的事象をもとに話していただき、眼前にその様子が鮮明に浮かび、まるでその場にいるような貴重な時間であった。

事業の成果

- ・ 国際社会に主体的に参画していく意欲と態度を促進することができた。そのために、自身が今、何をなすべきかを考える機会となった。
- ・ 授業での言語や文化に対する理解を深めるだけでなく、実際に運用する機会を設けることにより、グローバル化に適応するコミュニケーション能力や態度の育成の一助となった。

今後考えられる新たな取組

- ・ 「多文化共生社会実現のための相互理解」が図れるような講演会等の企画
- ・ 米国サザン・リジョーナル高校の生徒を本校へ招聘しての交流プログラム
- ・ 2020 東京オリンピック・パラリンピックを契機とするグローバル教育プログラム